

有馬層群のいろいろな石— 鑄射山 かぶらいさん

舟木冴子・岡 記佐子・岡崎聡郎・荻田雅弘・神尾颯太・河津 哲・春木正太郎・藤本守美・
堀居康一・松原 勝・松原陽子・水野康太郎・水野あつ子・水野修司・森本泰夫・
島田大二郎・田中博子

石ころクラブ勉強会で行った鑄射山周辺の有馬層群の巡検について、見学したコースと各地点で採集した岩石を紹介しました。巡検の概要は下記の通りです。

石ころクラブ勉強会「鑄射山周辺の有馬層群の巡検」

場 所：神戸市北区道場町

日 程：2017年9月10日（日）10時～15時

行 程：JR宝塚線「道場」駅～武庫川左岸～鑄射山 往復約5km（図1 赤ライン）

目 的：僧川砕屑岩類，玉瀬溶結凝灰岩，玄能池砕屑岩類，境野溶結凝灰岩などの岩質及び層序の見学

地 点：①僧川凝灰質泥岩層（武庫川左岸）

②玉瀬結晶質凝灰岩（鑄射山）

③玄能池砕屑岩層（鑄射山）

④玄能池砂質凝灰岩（鑄射山）

⑤境野結晶質凝灰岩（鑄射山）

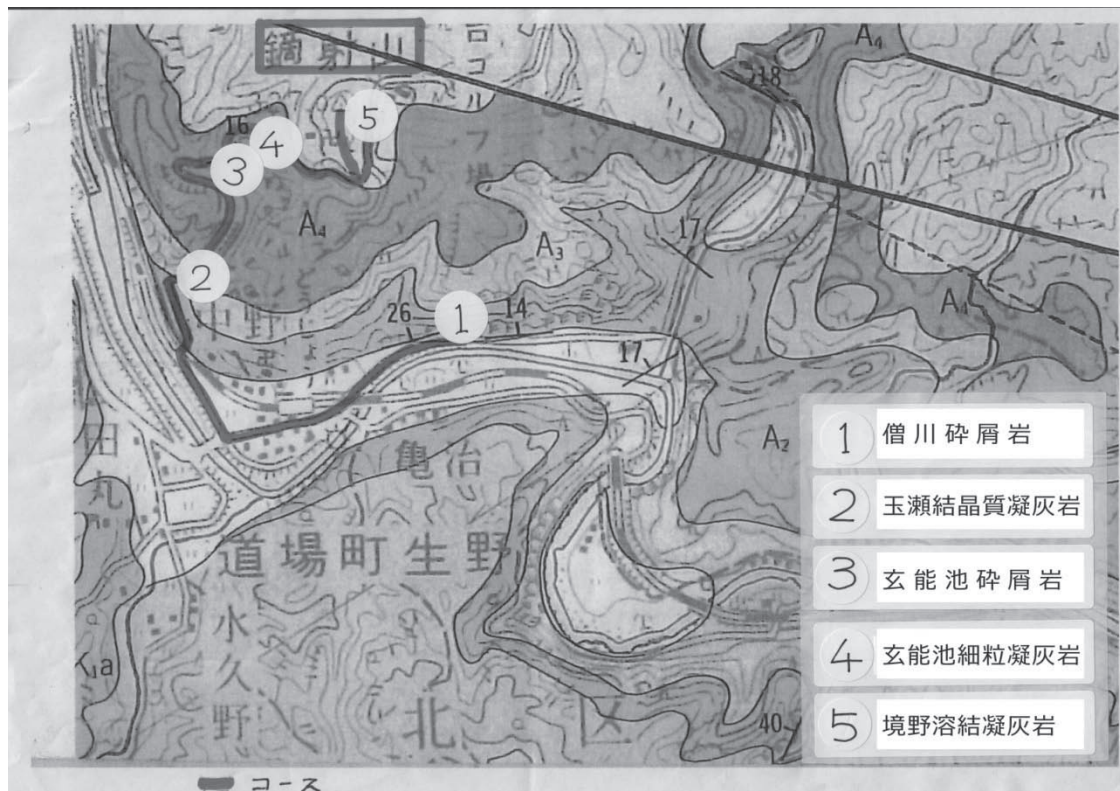


図1 鑄射山巡検コース

①～⑤は観察地点の番号。各地点で観察した地層や岩石の名称は本文を参照。

鎚射山と有馬層群

1億年～7千万年前（白亜紀後期）は、恐竜がのし歩いていた時代です。日本列島はその姿もなく、まだ大陸の端にくっついていました。このころに西南日本のあたりで大きな火山活動があり、兵庫県内では有馬層群、相生層群、生野層群などよばれる地層が堆積しました。現在、この有馬層群が三田盆地を、”コ”型にとり囲んでいます。この”コ”型の右下あたり、三田盆地の南東端に鎚射山があります。

有馬層群は4つの凝灰岩層と2つの水成堆積岩層からできています。鎚射山は、この内の2つの凝灰岩層と2つの水成堆積岩層が露頭をつくっており、比較的多くの岩相をみる事ができる所です。

第13回「共生のひろば」では、各観察地点で採集した有馬層群の岩石を展示しました。どうぞ、1億年の時を経た岩石の手触りをお楽しみください。

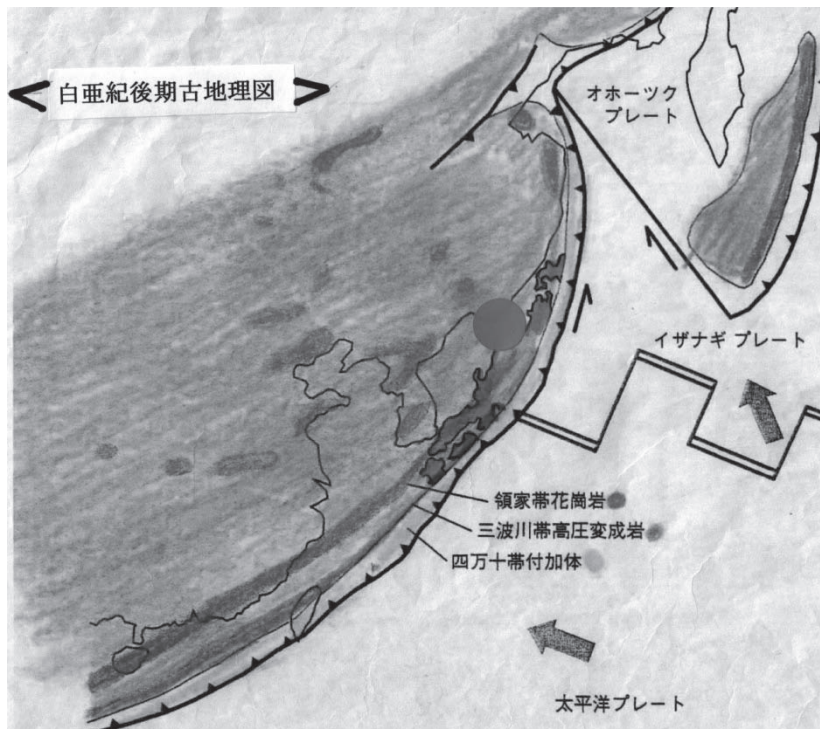
鎚射山で見られる有馬層群の露頭と岩石



僧川凝灰質泥岩層（地点①）

玄能池砂質凝灰岩層（地点④）

玄能池砂質凝灰岩（地点④）



白亜紀後期（約1億年～7千万年前）の日本列島周辺の古地理図

日本列島はユーラシア大陸の一部であり、まだ日本海は形成されていなかった。西南日本付近は朝鮮半島の東方に位置し、現在の三田市周辺では太平洋プレートの沈み込みによる火山活動が活発に行われていた。